

パブリックコメント実施結果(一般向け)

番号	意見のある項目 及びページ	意見内容(一部要約)	町の考え方
1	第4章 施策の展開 基本目標2	病児保育は利用したい時に利用ができず、稼働していないと感じる。コロナ禍を経て感染症(インフルなど回復期にあっても)受け入れが難しい家庭も増えているのではないか？ ファミサポ委託なのであれば、実際稼働できる家庭の把握をして頂き、必要な時に利用できるようにしてもらいたい。小児科もできたため、クリニックと連携した病児保育なども検討して欲しい。	・病児・病後児保育事業については、計画63ページの「第5章第3期子ども・子育て支援事業計画 (10)病児・病後児保育事業」に詳細を記載しています。 ・病児・病後児の預かりを利用できる子どもについては、一定の基準(病気の回復期にあり比較的症状が落ち着いている等)のもと、ファミリー・サポートセンター事業により対応しています。また、病児・病後児の預かりに対応できる協力会員を把握していますが、利用会員が希望する日程、特に急な依頼に対応できる協力会員がいない場合があります。 ・現在は医療アドバイザーと連携して事業を実施していますが、より子どもの安全に配慮した事業が実施できるよう、小児科・内科との連携を踏まえ、適切な環境整備について検討します。
2	-	町としての取り組みとしては難しいと思いますが、いずれこのようになっていけば良いなという意見です。 高校は全て、資格取得学校にする。国としては、様々な資格を用意する。例えば、マナー資格、敬語資格、Excel資格、作図資格、英語資格…多種多様な資格。 就職先は、例えば、マナー資格と英語資格を持っている人材を採用しますと提示する。そうすると、運転免許を皆一生懸命に取得するように、皆希望の職に就くために一生懸命に学ぶと思われます。 生徒にとっても、社会にとっても有意義なはずです。	・計画に対する意見ではないため、町の考え方は控えさせていただきます。提案として承り、今度の参考とします。
3	-	○出生届を受理したら、町長、教育長の連名でメッセージと、「ロイズコンフェクト」からケーキを届ける(ロイズコンフェクトを説得し投資をしてもらう)加えて、小学校にあがるまでの6回の誕生日にはメッセージとケーキを贈呈し続ける。 ○こどもが産まれた町内会長・民生児童委員は率先して地域内野菜、お米等を可能な限りお届けする ○この活動を運営する主体者は野菜農家さん、お花農家さん、食料生産者さん、北石狩農協さんを訪問し、出荷できる(商品)、出荷できないB級生産物(商品)を寄贈頂き、その生産者からのメッセージを添えて、贈呈する。 ○町内会は0歳～6歳までのこどもが居る家族を積極的に町内会イベントに招待し続ける ○町は0歳～6歳まで読み聞かせをするための絵本60冊を年齢毎に贈呈する ○町内のボランティア団体やものづくりの団体と協力して、それらの作品(飾り雛等)を計画的に贈呈する ○このような施策を展開し続けることで当別町で産まれたこどもは「広報に写真・名前」を載せることに了解を頂く(0歳～6歳までとする) ○各贈呈する場面のこどもの笑顔の写真を必ず撮影し、掲載に了解を得る	・計画に対する意見ではないため、町の考え方は控えさせていただきます。提案として承り、今度の参考とします。